



# 子育て子育てエンパワメント ：根拠に基づく実践システム

---

筑波大学

安梅勅江

# 本日お話しさせていただくこと

---

1. 湧活empowerment
2. 発達コホート研究
3. plasticityとresilience支援
4. 養育者支援効果の実証
5. 実践知と科学知の統合  
: 養育者支援科学への期待

# エンパワメント (湧活)

---

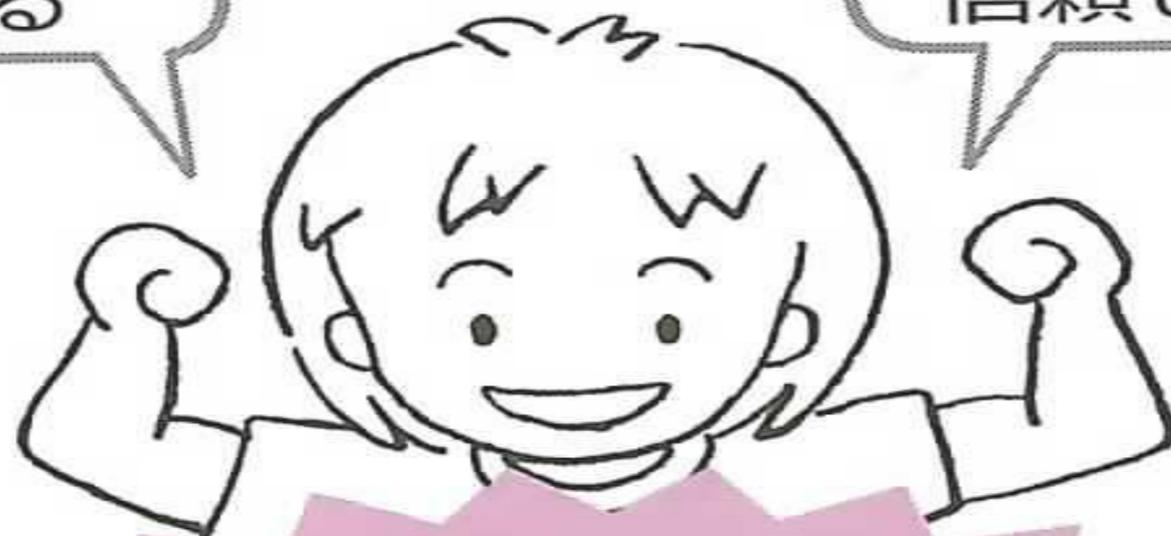
人びとに夢や希望を与え、  
勇気づけ、人が本来持っている  
すばらしい、生きる力を  
湧き出させること

認められる

誉められる

尊敬される

信頼してもらえる



元気になる  
持っている力を最大に  
発揮する自信  
かけがえのないひとり  
自己実現

ありのままを受容  
してもらう

安心・安全に  
生活ができる



エンパワメントの視点



**エンパワメント相乗モデル**

# コホート研究とは

---

語源はローマ時代の軍隊の一団  
前へ前へと進むその姿から、  
時間軸に沿って対象を追跡すること。

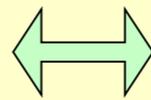


# コホート研究の意義

時間要因

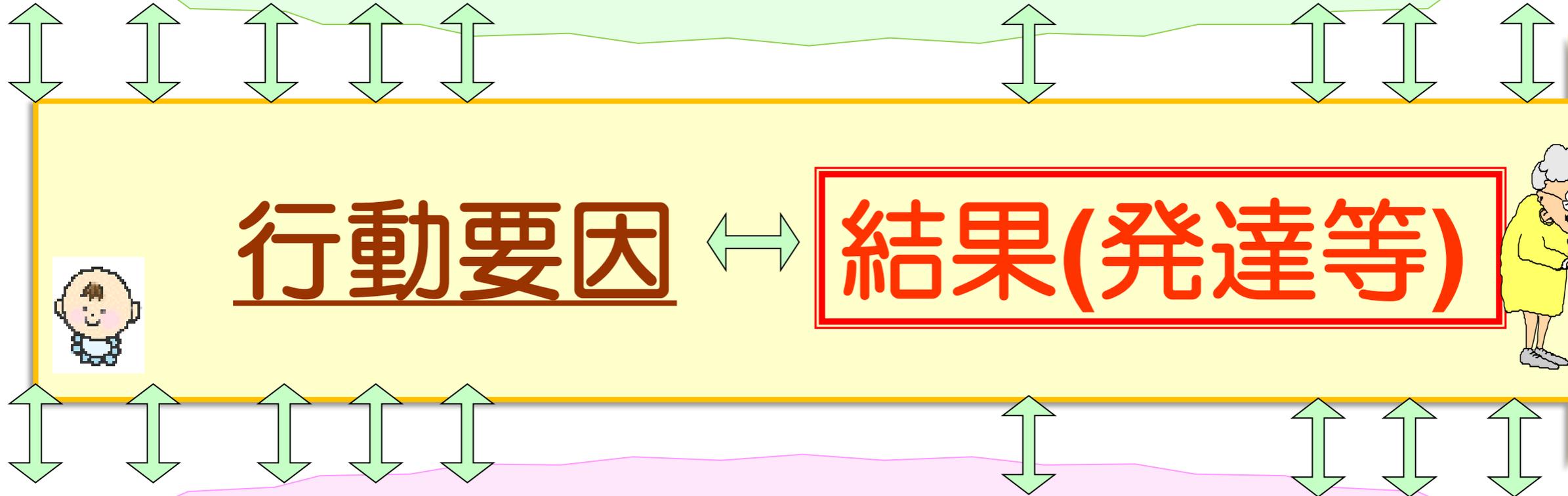
環境要因

行動要因



結果(発達等)

遺伝要因



# 当事者主体コホート研究

---

- 1. 地域コホート**      **悉皆コホート**
  - ① 5,000名      26年      0~102歳
  - ② 18,000名      5年      65~100歳
- 2. 保育コホート**      **パネルコホート**

51,000名      19年      0~19歳
- 3. すくすくコホート**      **出生コホート**

500名      10年      0~12歳

ほめられる子は  
思いやりも育つ



Japan Children's Study

…科学の目が初めて証明

読売新聞2009.2.28

# 社会能力評価のためのかかわり指標の開発と評価

## 子ども側

1. 主体性
2. 応答性
3. 共感性
4. 感情制御
5. 運動制御



相互作用

## 養育者側

1. 主体性発達への配慮
2. 応答性発達への配慮
3. 共感性発達への配慮
4. 社会情緒発達への配慮
5. 認知発達への配慮

## <かかわり指標の特徴>

1. 国際比較可能な領域別に数値評価（10領域）
2. 汎用性（日常場面、短時間、訓練容易）
3. 妥当性・信頼性明示
4. 子ども側面、養育者側面、相互作用を独立評価
5. 0～8歳適用可能
6. 社会活用容易（気になる子どもの早期発見、支援等）



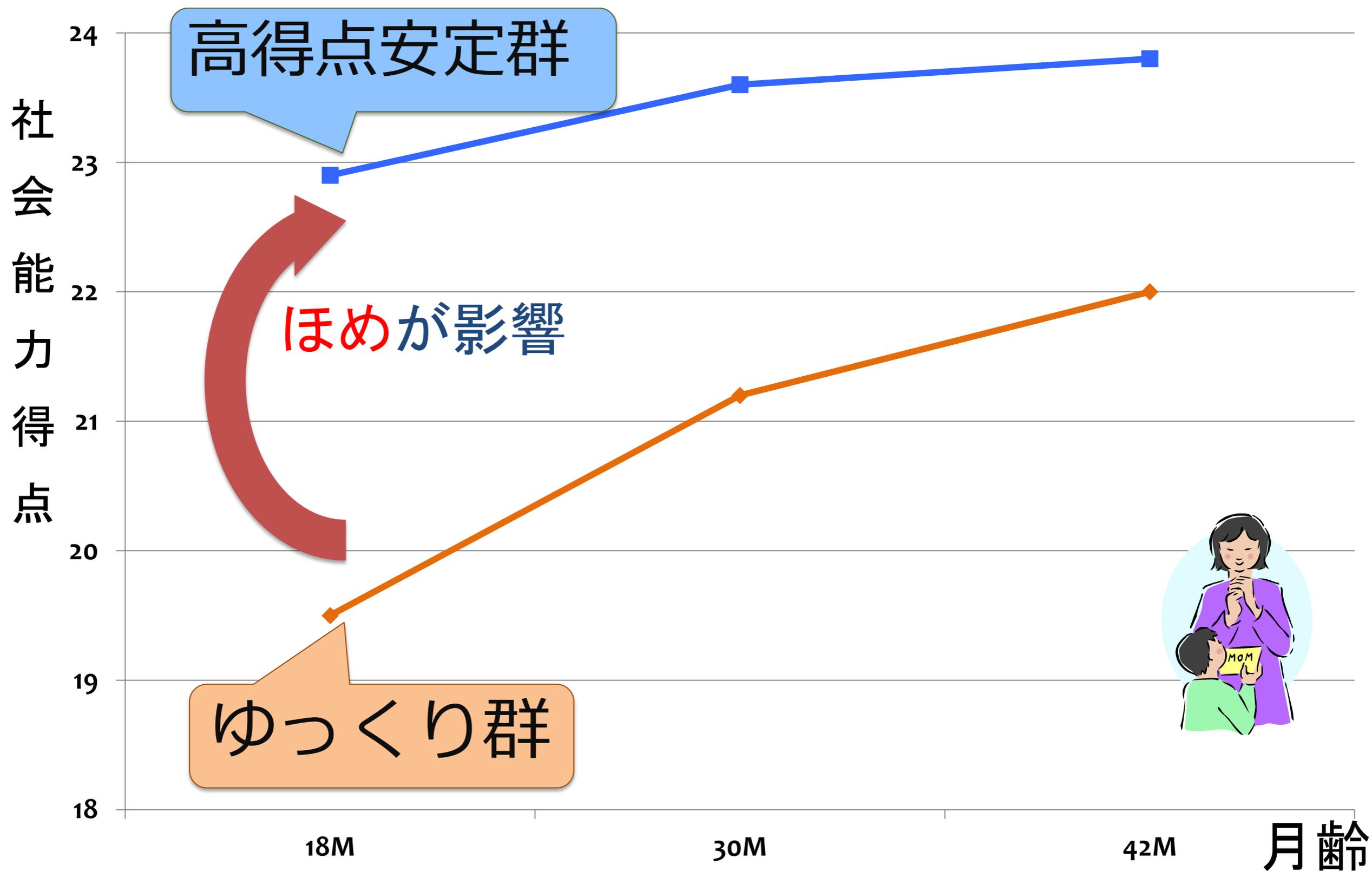
# 子ども側・養育者側領域の内容

30項目

50項目

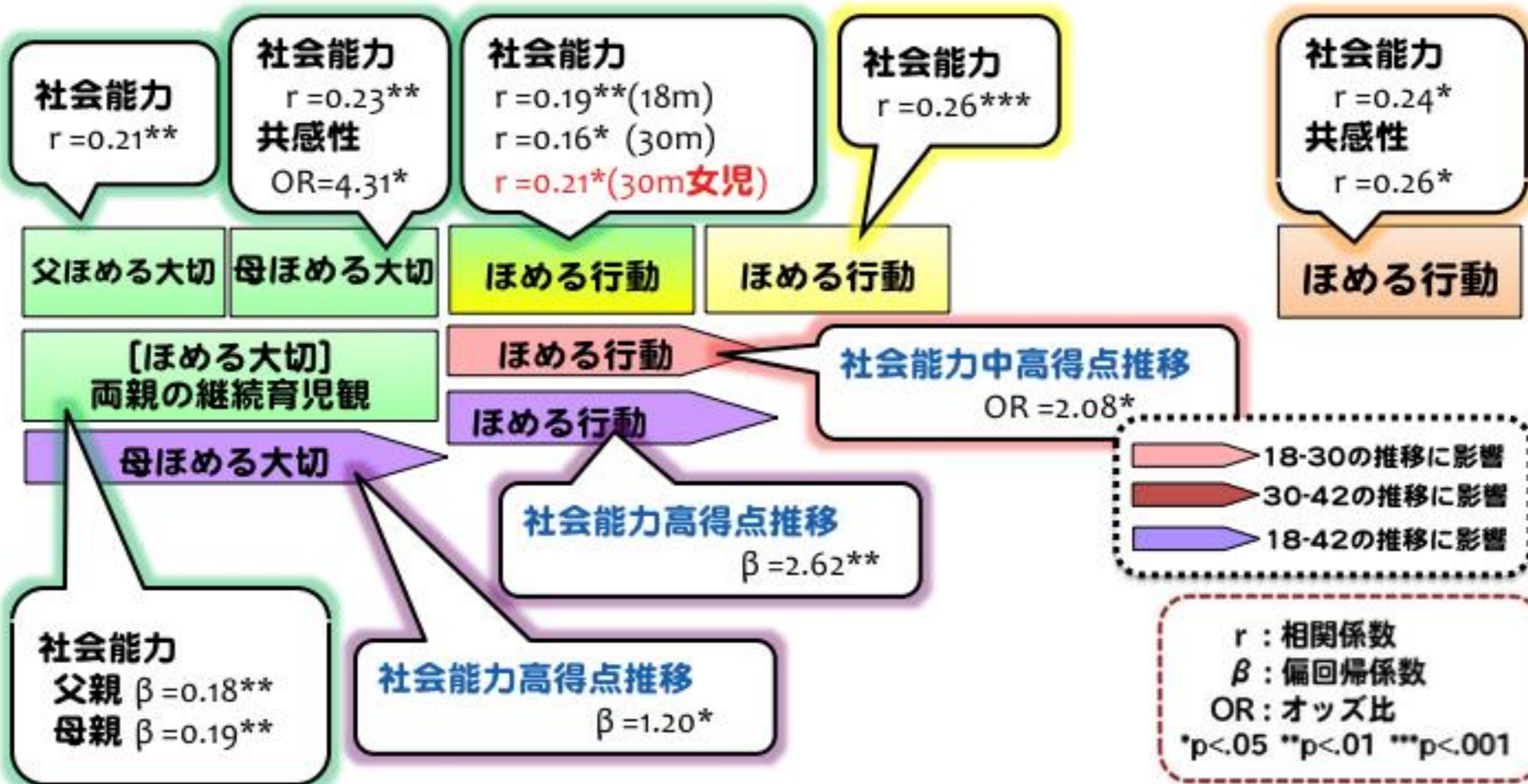
1. **主体性** : 自分から養育者に働きかけ。
2. **応答性** : 養育者の動きに明確に反応。
3. **共感性** : 養育者の様子や状況に即して行動。
4. **運動制御** : 不自然な動きや気になる動きなし。
5. **感情制御** : 自分で感情を制御。
6. **主体性発達への配慮** : 主体性発達を促すかかわり。
7. **応答性発達への配慮** : 応答性発達を促すかかわり。
8. **共感性発達への配慮** : 共感性発達を促すかかわり。
9. **社会情緒発達への配慮** : 社会情緒発達を促すかかわり。
10. **認知発達への配慮** : 認知発達を促すかかわり。

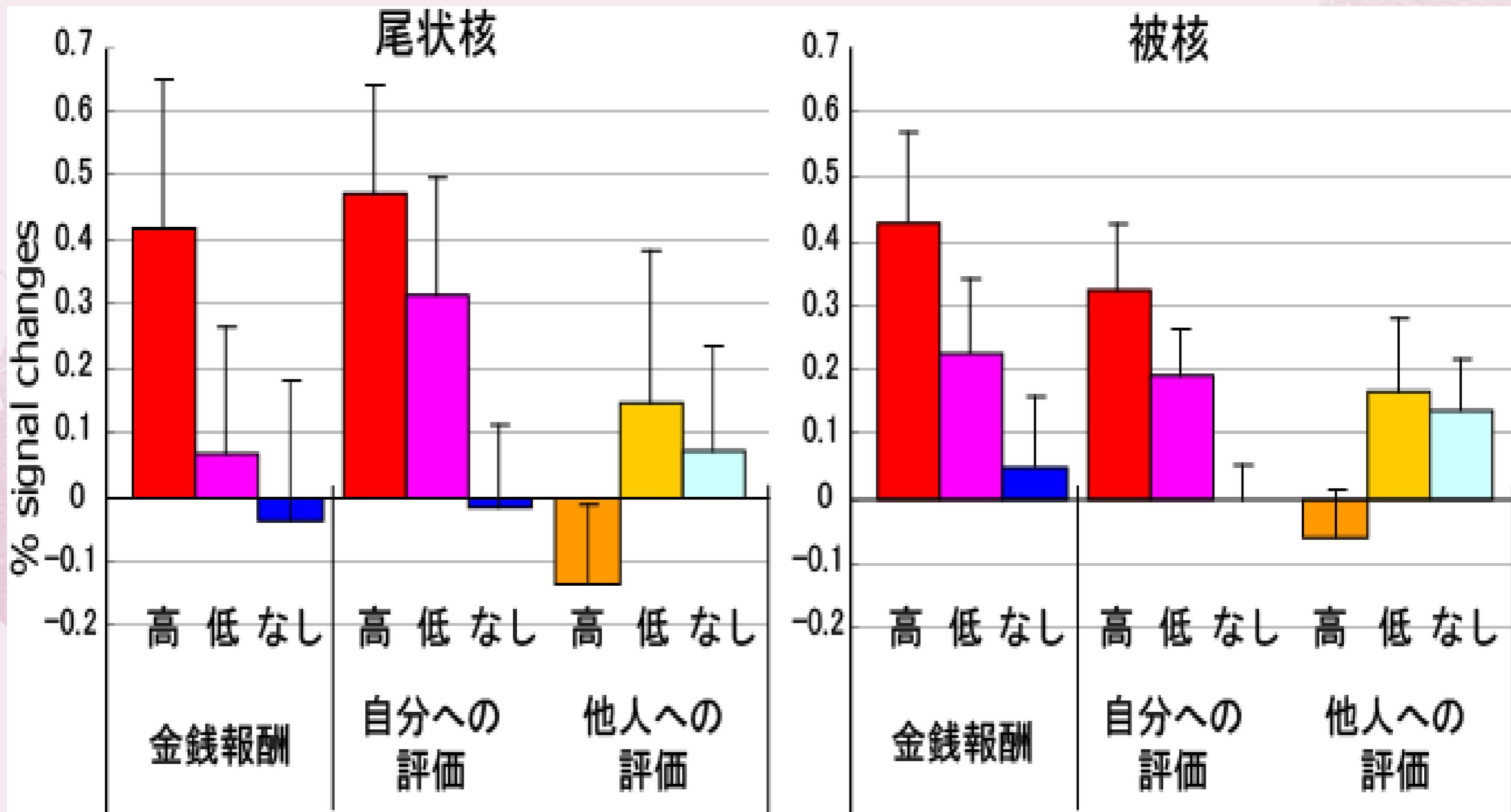
# ほめと社会能力の発達パターン



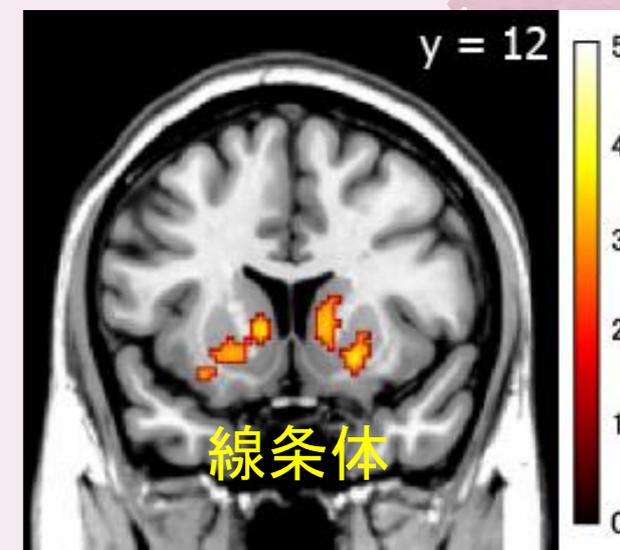
# 子どもの社会能力発達に関連する要因

## ほめる意識・行動





金銭報酬と自分への良い評価は、  
 同じ脳部位（線条体）で、同じ活動  
 パタン (Izuma et al. 2008)





# PlasticityとResilience

可塑性plasticity：変化させる能力

empower

環境

認知

連結  
意味づけ

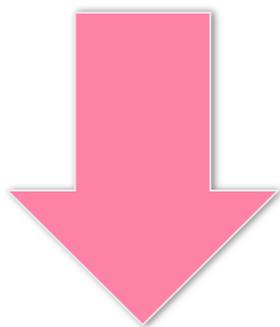
神経

人は生涯にわたり可塑性を発揮

# 保育コホート研究のながれ

---

- ▶ **1998年「保育パワーアップ研究会」発足**
  - ▶ 長時間保育が子どもに及ぼす影響
  - ▶ 長時間保育に取り組む全国100の認可保育所
  - ▶ 園児約2900人、保護者約2000人



保育専門職と共に

17年 のべ51,000人

▶ 5つの支援ツール開発

- ▶ 発達評価ツール
- ▶ 育児環境評価ツール
- ▶ 保育環境評価ツール
- ▶ 気になる子ども支援ツール
- ▶ 社会的スキル尺度

▶ 支援設計

目標  
課題  
背景  
影響要因  
支援方法  
根拠

# 養育者支援効果の実証

- ▶ 本システムを活用している認可保育園に通園している子どもの**保護者11,640名**。
- ▶ 配慮を要するかかわりをしていた保護者の**1年後の育児環境の変化**を調査。

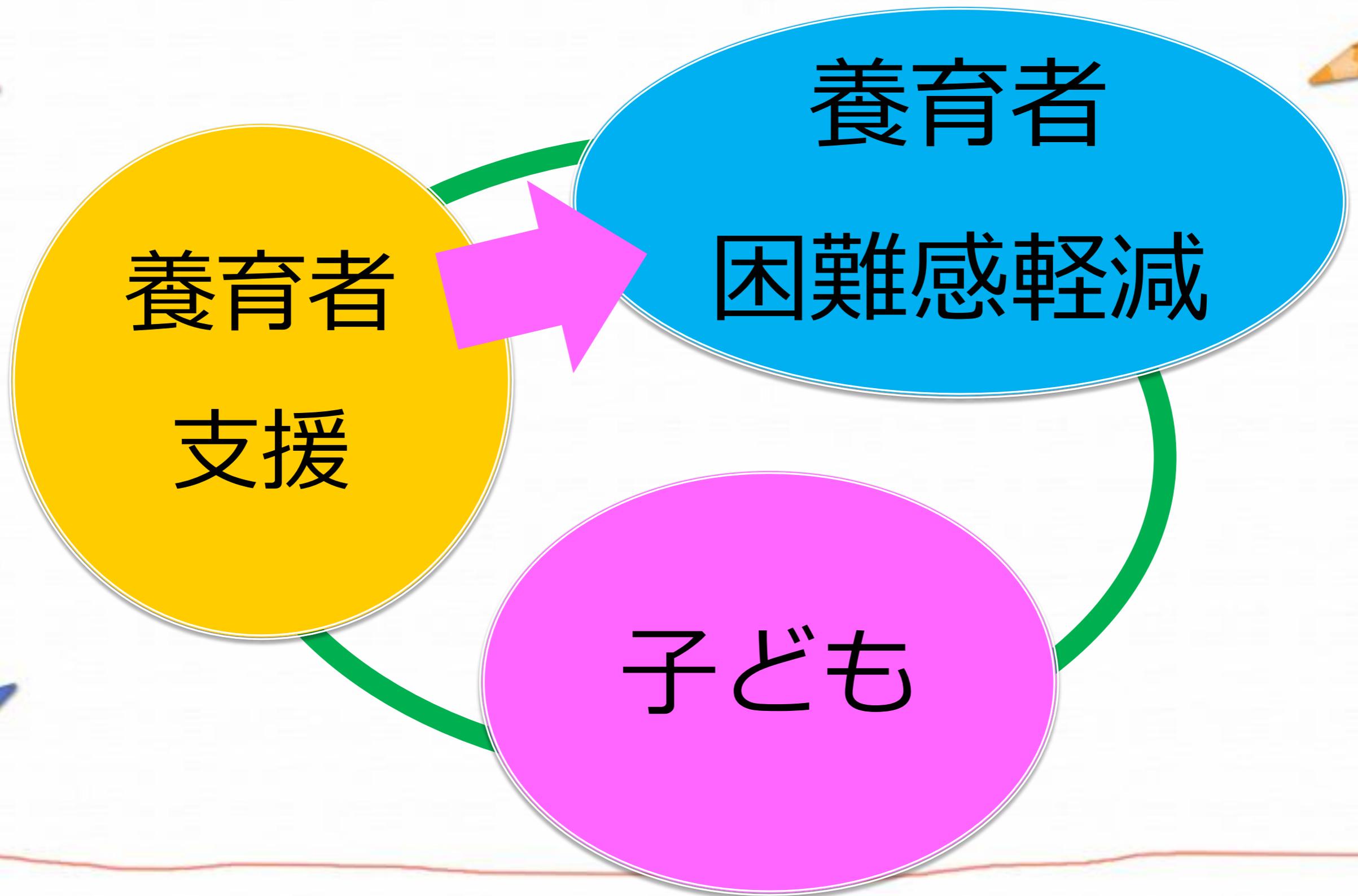


# 養育者支援の効果

---

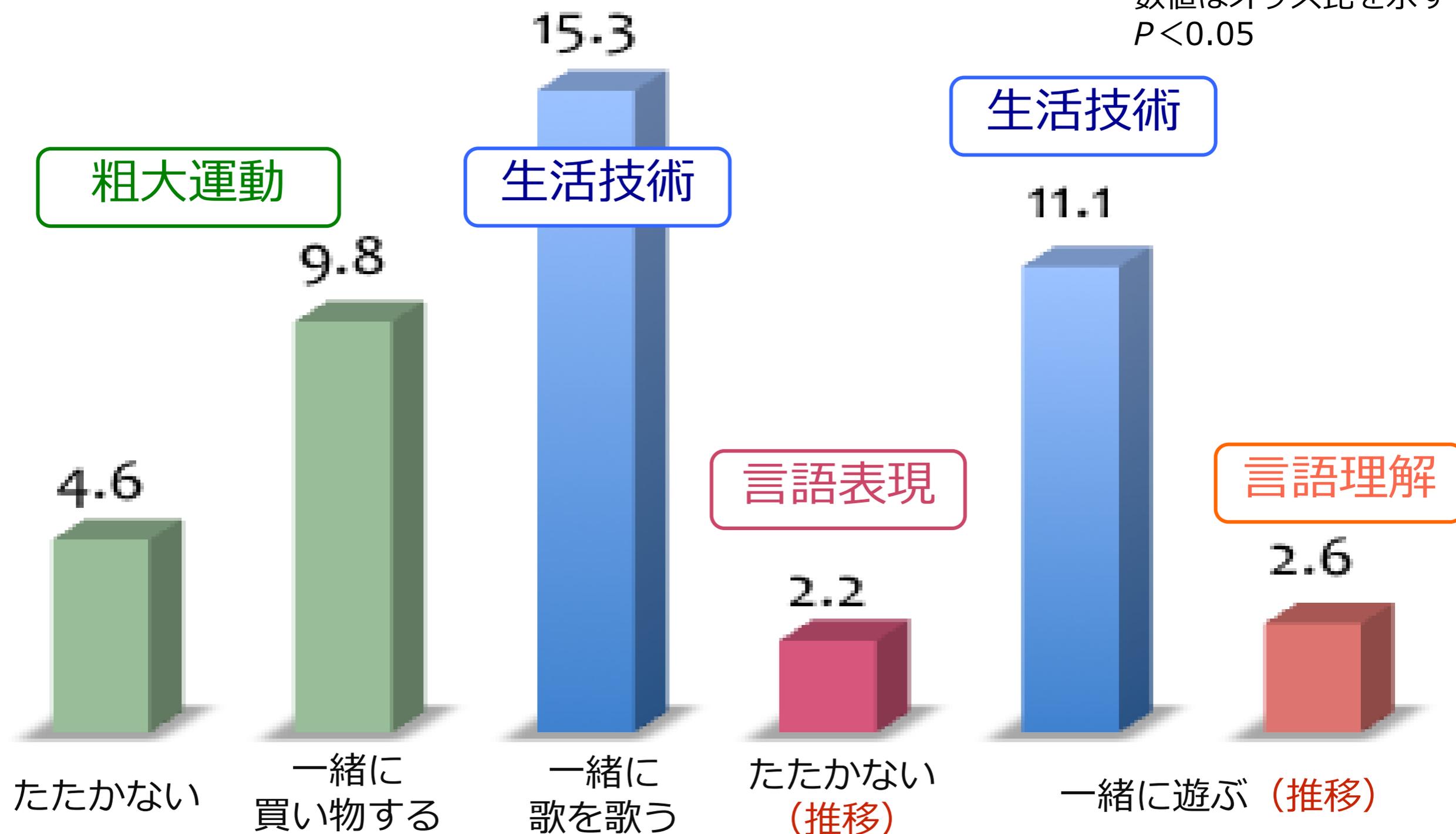
保護者11,640名を対象に1年後の育児環境の変化を調査。

- ▶ 子どもをたたくななどの行為は6～7割減少。
- ▶ 家庭の望ましいかわりには3～8割増。



# 育児環境と2年後の発達

数値はオッズ比を示す  
 $P < 0.05$



# 育児環境と1年後の社会的スキル

1年後

1歳時点  
一緒に本を読む

$\beta=0.18$   
 $P=0.022$

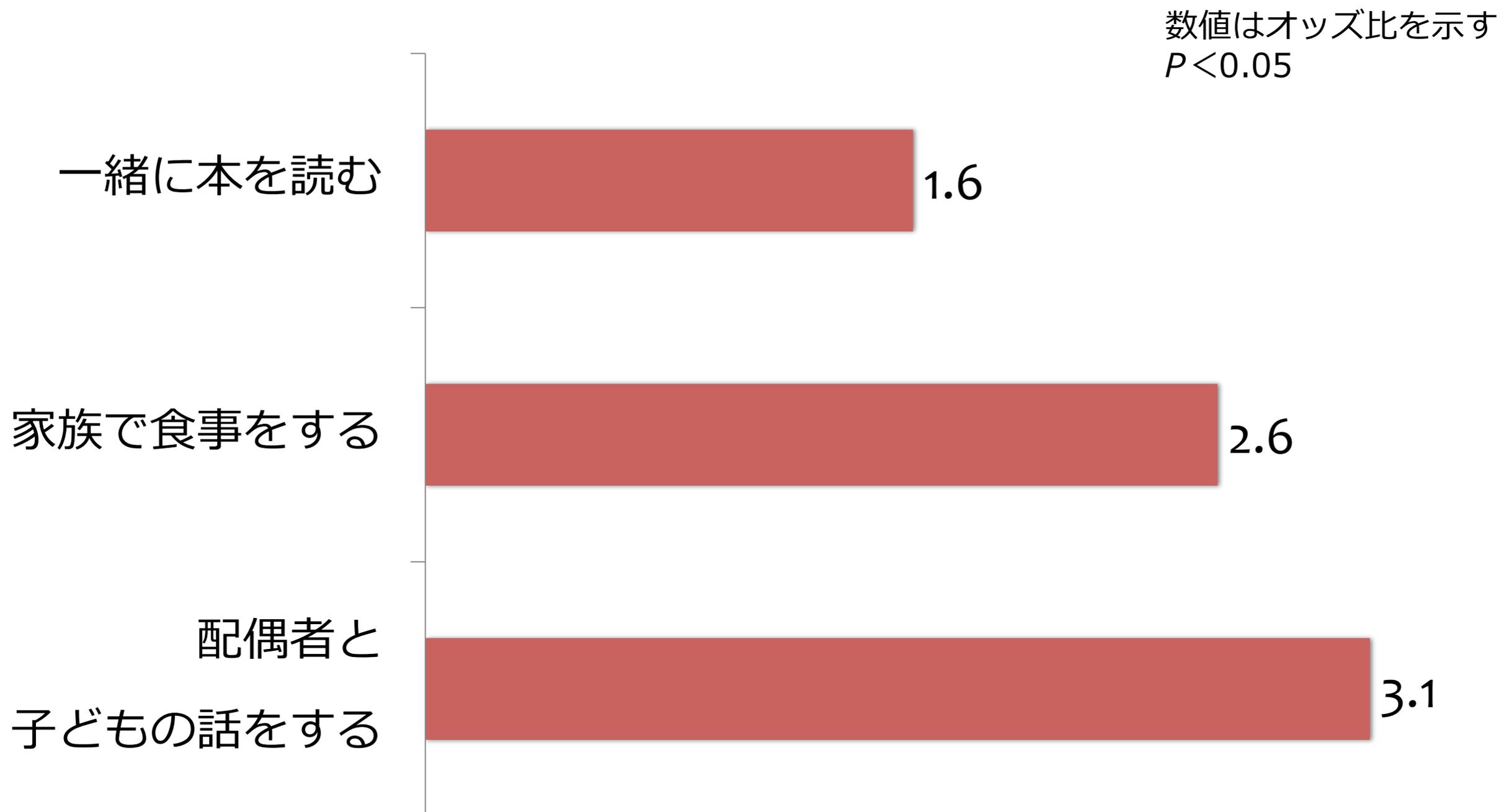
自己表現

3歳時点  
子どもをたたかない

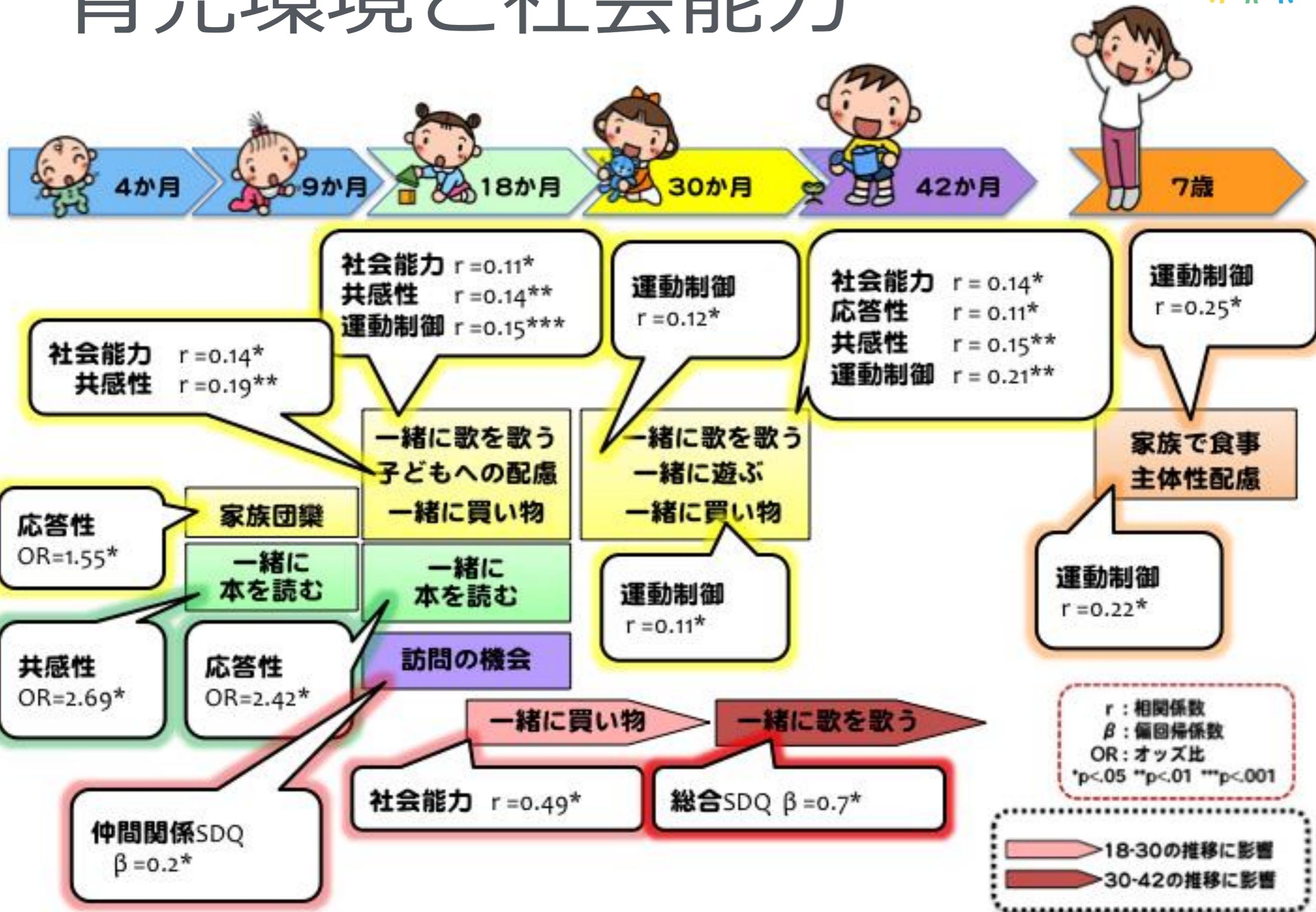
$\beta=0.29$   
 $P<0.001$

自己制御

# 1歳時の育児環境と5歳時の社会的スキル



# 育児環境と社会能力



# 生活習慣と社会能力



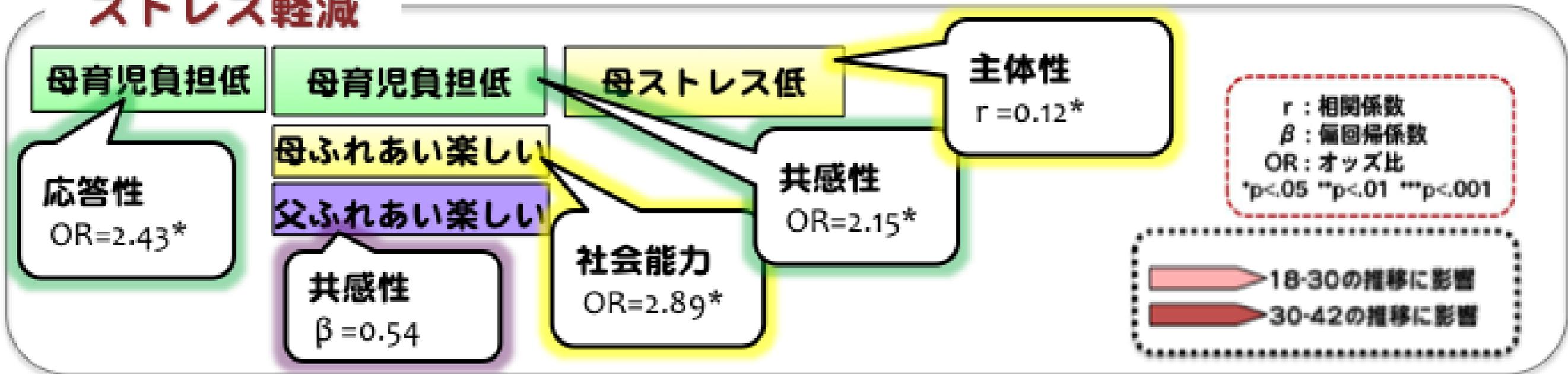
$r$  : 相関係数  
 $\beta$  : 偏回帰係数  
 OR : オッズ比  
 $^*p < .05$   $^{**}p < .01$   $^{***}p < .001$

18-30の推移に影響  
 30-42の推移に影響

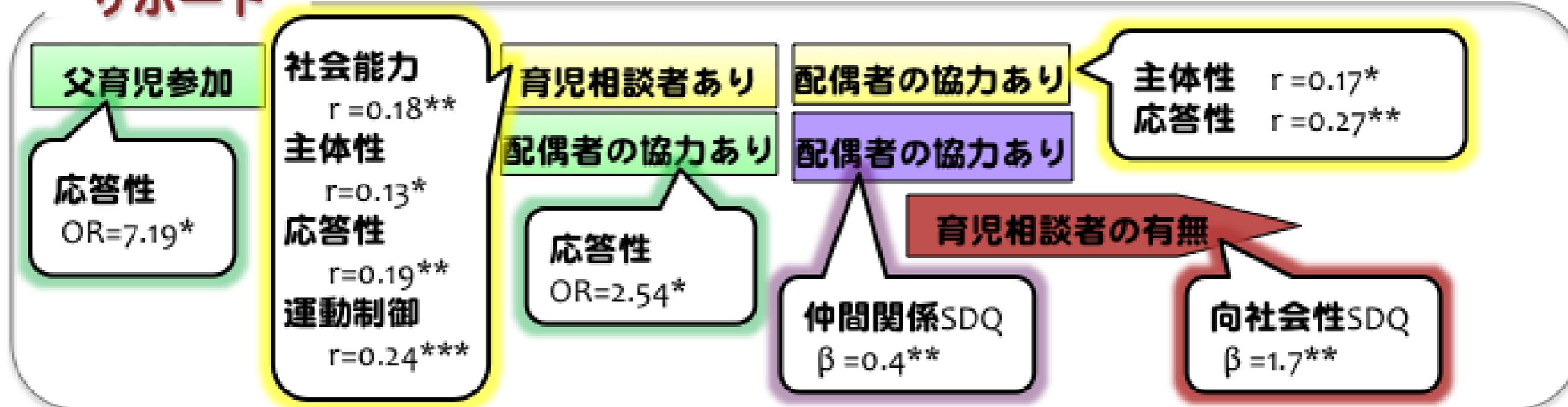
# 育児サポートと社会能力



## ストレス軽減

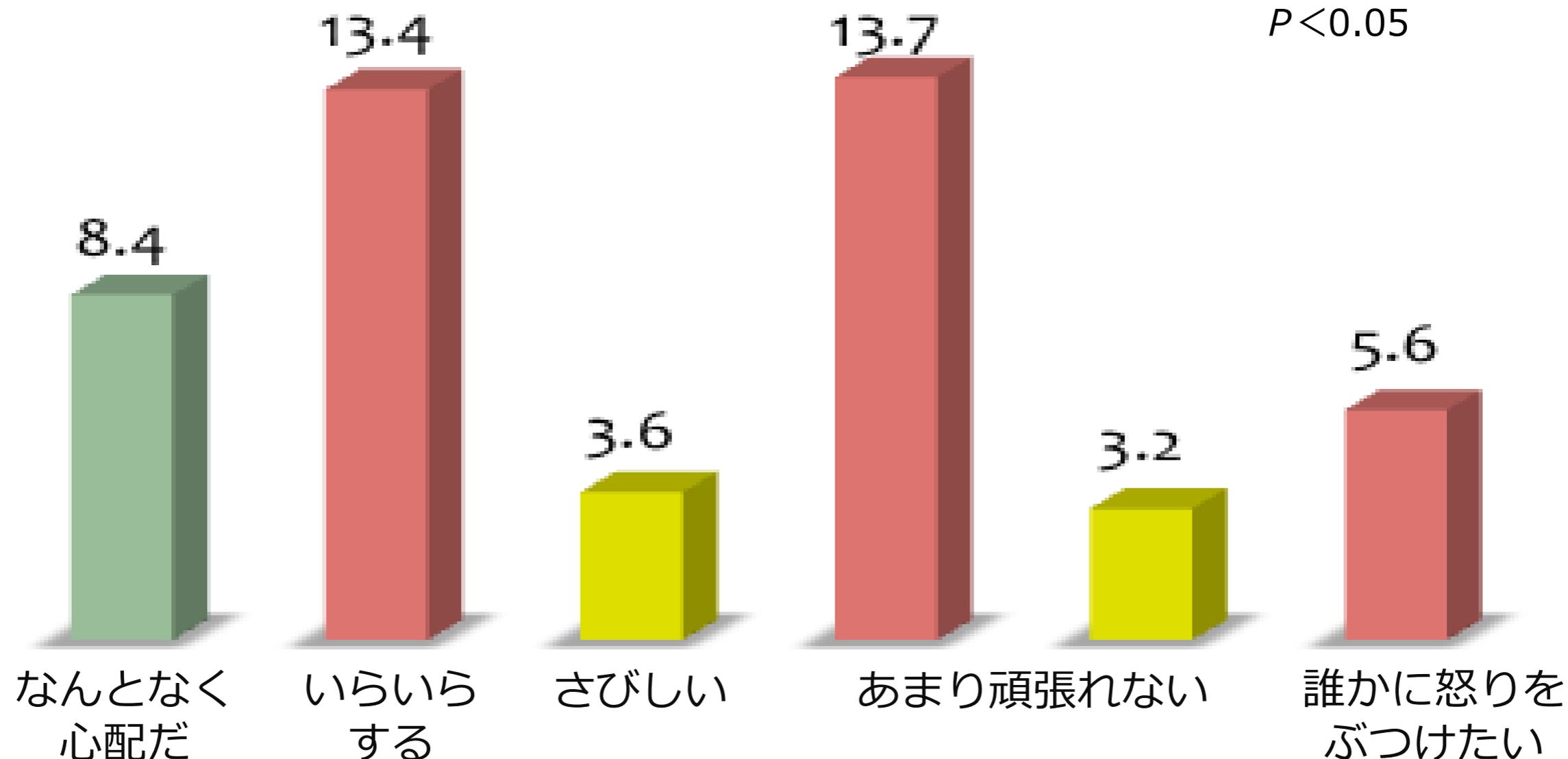


## サポート



# 育児環境が学童期に及ぼす影響

数値はオッズ比を示す  
 $P < 0.05$

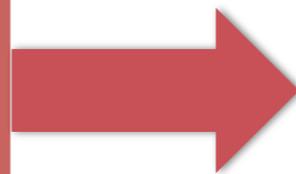


- 幼児期に子育ての相談者がいない
- 幼児期に一緒に歌を歌う機会が乏しい
- 幼児期に一緒に本を読む機会が乏しい

# 学童への幼児期要因の影響

## 幼児期の要因

育児環境  
保育環境  
保護者支援



## 学童期の子どもの心身の健康

### <身体面>

体がだるい、疲れやすい、  
体から力がわかない、頭痛

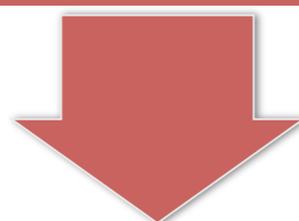
### <精神面>

頑張れない、気持ちが沈む、  
さびしい、なんとなく心配、  
いらいらする、不機嫌、  
誰かに怒りをぶつきたい、  
勉強が手につかない



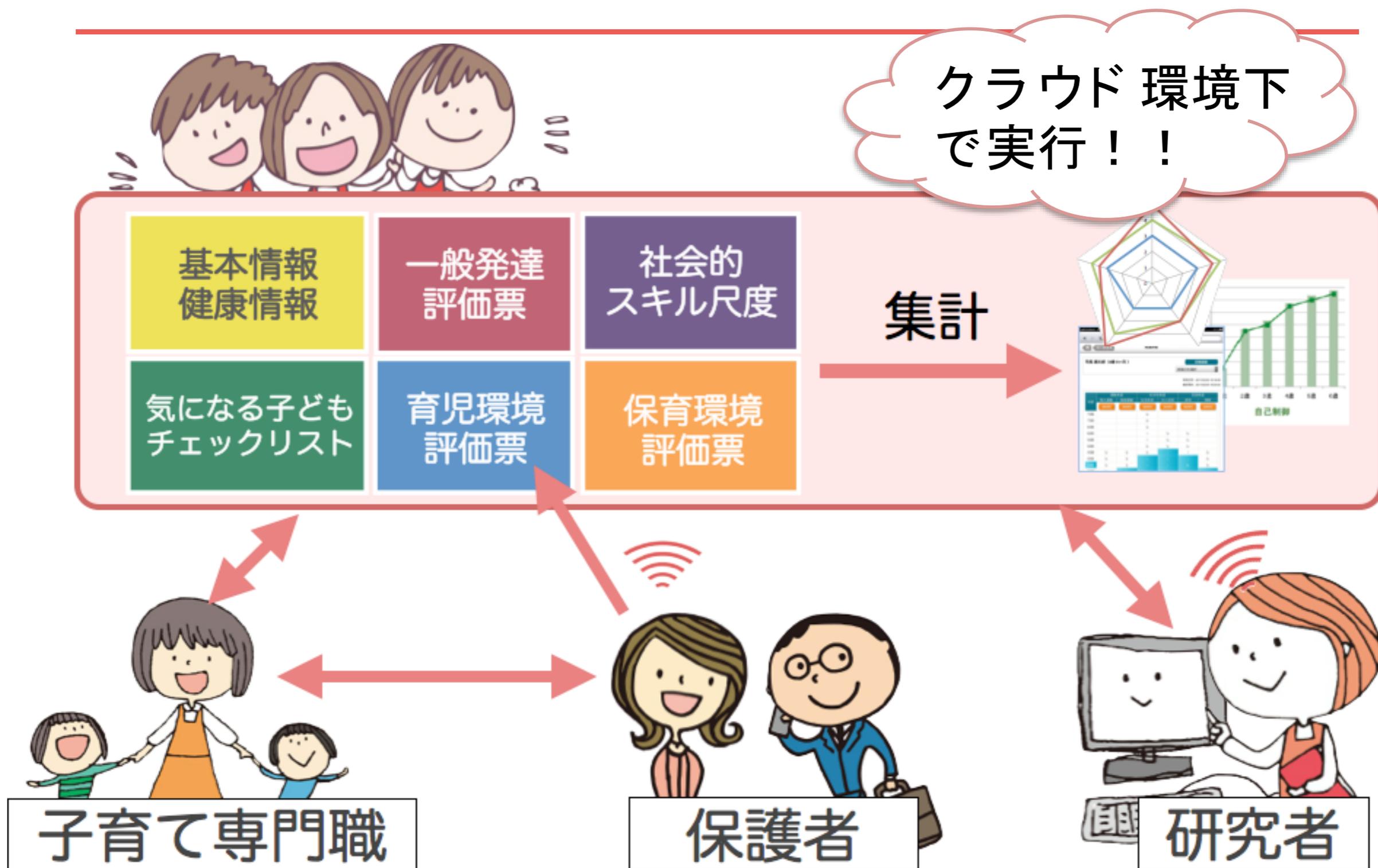
子どもの健やかな育ちに影響するのは、

- ▶ 「子どもの発達に適した**育児環境**があるか」
- ▶ 「保護者の**相談相手**がいるか」
- ▶ 「保護者の**育児協力者**がいるか」



養育者支援による子どもと保護者の  
Plasticity、Resilience醸成の重要性

# WEBを活用した支援システム



# 子育て支援専門職

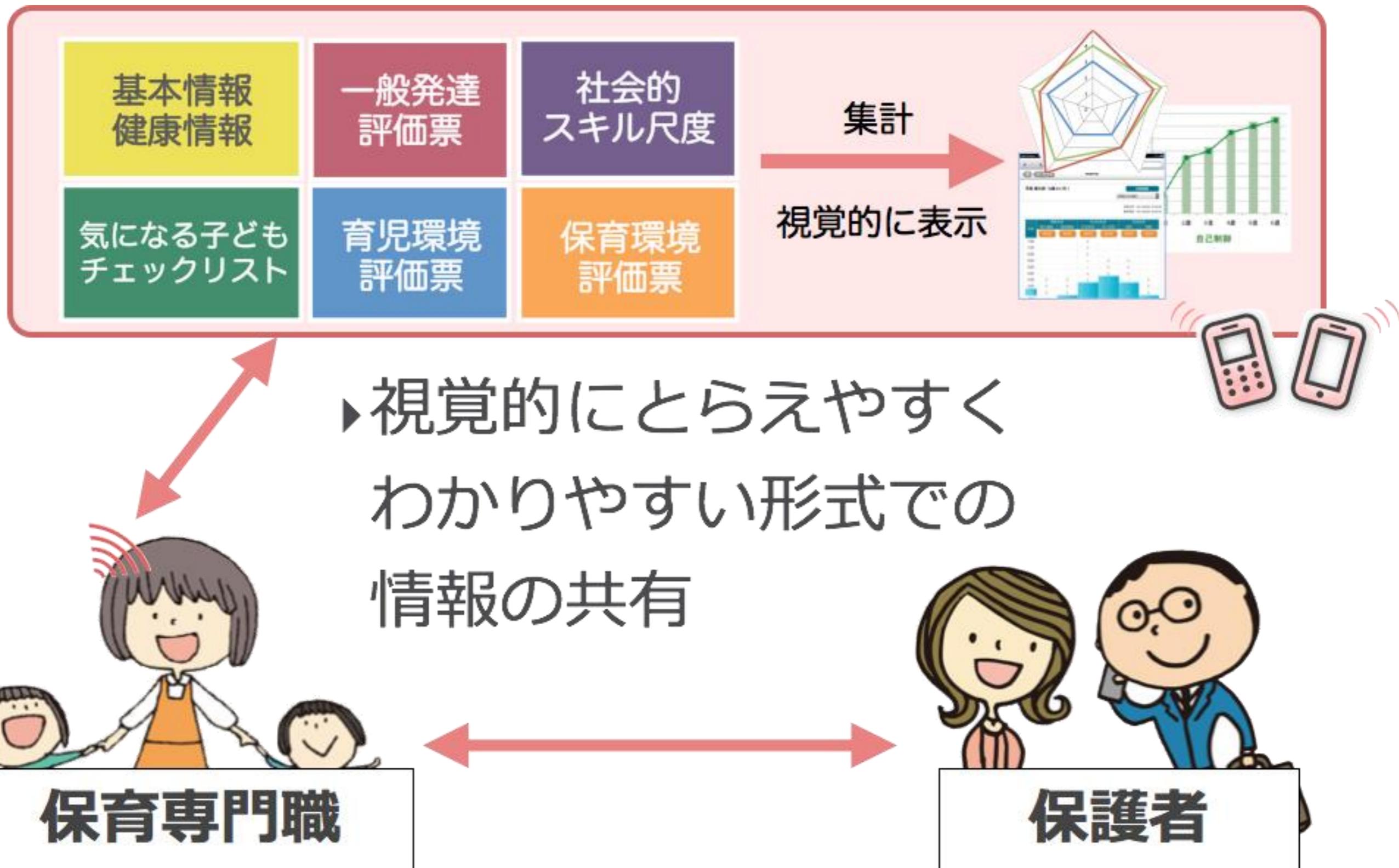


- ▶ 発達状態の特徴を視覚的に確認
- ▶ 配慮を要する子どもや保護者の早期把握
- ▶ 根拠に基づく支援

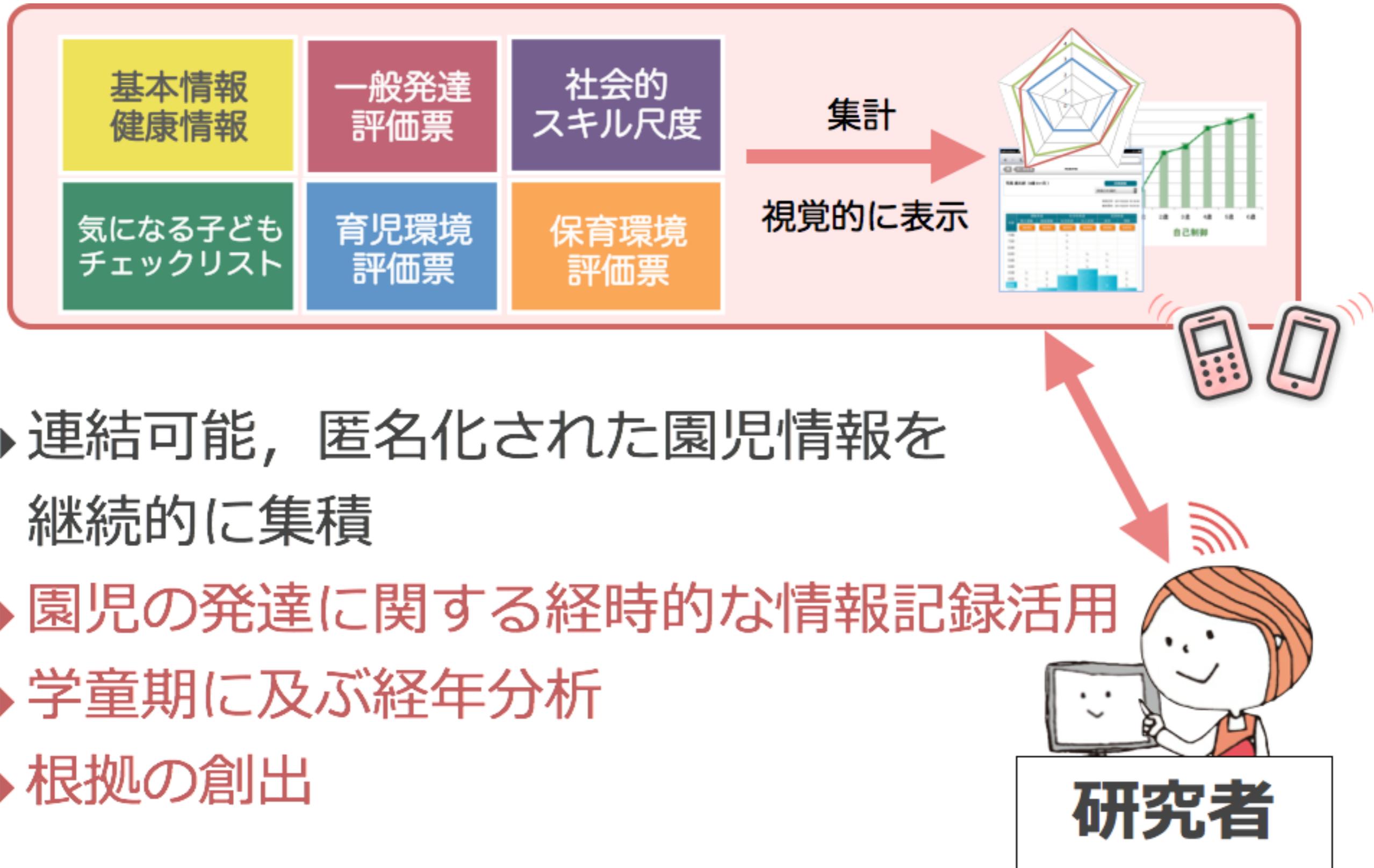


保育専門職

# 保護者と専門職



# 研究者



# 養育者支援ツールの活用

---

1. 養育者に寄り添うツール  
子どもの状況を保護者と共有する
2. 養育者が子育てを楽しむツール  
気づきを促す支援
3. 職員間のチームワークツール  
科学的根拠に基づく支援

実践における  
パートナーシップ



トップ  
ページ

根拠に基づく  
実践とは

根拠に基づく  
ツール

実践例  
と評価

ツール  
活用法

WEB園児  
支援システム

研究会  
Members

リンク

みんなの  
相談室

# 保育パワーアップ研究会

Evidence based Child Care  
Empower Skills for Child Care Professionals



お問い合わせは  
こちらから



## 保育パワーアップ研究会へようこそ！

### SITE MENU

🌸 トップページ  
HOME

🌸 根拠に基づく実践とは  
Evidence based Child Care

🌸 根拠に基づくツール  
Tools

🌸 実践例と評価  
Practice model

🌸 ツール活用法

### <保育パワーアップCafeのご案内>

定期的に保育パワーアップCafeを開催しています。  
より良い保育について一緒に考えませんか？

次回は平成27年2月開催予定です。



はじめに

Google

保育パワーアップ研究会



「子育て子育てエンパワメントに向けた発達コホート研究」は、子どもの育つ力と、養育者の育児力を育むエンパワメントを目指しています。



ホーム

目的と方法

成果

開発ツール

エンパワメントとは

エンパワメントのコツ

プロジェクトメンバー

お問い合わせ

## 子育て子育てエンパワメントに向けた発達コホート研究

### EMPOWERMENT FOR CHILD DEVELOPMENT AND CHILD CARE: EVIDENCE FROM COHORT STUDY (ABBR. ECD)



ENGLISH

ごあいさつ



#### コンテンツ

- ▶ ホーム
- ▶ 目的と方法
- ▶ 成果
- ▶ 開発ツール
- ▶ エンパワメントとは

「子育て子育てエンパワメントに向けた発達コホート研究」は、子どもの育つ力と、養育者の育児力を育むエンパワメントを目指しています。

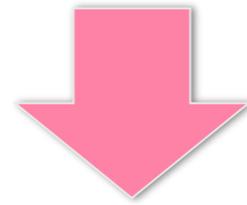
14年以上の追跡調査による根拠に基づき、すこやかな育ちを保障する環境を実現してきました。子どもと養育者主体のパートナーシップを継続するために、住民、行政、実践、研究が一体となって取り組んでいます。このホームページの情報が、皆さんの地域や組織の子育て子育てエンパワメント推進に向け、なんらかのお役にたつことを祈念しております。



Google

子育てエンパワメント





専門職と共に

## ▶ 根拠を実践の場で活用

- ▶ 実践における着実な質向上への効果
- ▶ 発達障害や虐待の早期把握と支援に有効



# 子どもと養育者の

# Plasticityを育む支援

信頼感、自己効力感、自信  
安定感、参画、自己実現  
未来への見通し、つながり  
意味づけ、など

# しなやかさを育む

---

物事に柔軟に対応し、  
前向きに生きていける能力



# エンパワメントのコツ

みんなちがってみんないい

Holistoc  
全体性

Plasticity  
しなやかさ  
(可塑性)

Diversity  
多様性

自分を誇り、違いを楽しみ、仲間を信じる

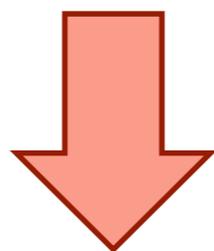


1. 学融合知のプラットフォーム

2. 当事者主体研究法開発

3. 科学知と実践知をつなぐ

人材養成



人々が持つ力を最大限に  
発揮し共感する

発達保育実践政策科学を期待

